



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 尾関武弘
幹事 伊豫田博明
会報・雑誌委員長 堀江宏輝

No. 43

意識を喚起し——進んで行動を

CREATE AWARENESS TAKE ACTION

2000~2001年度 RI会長 フランクJ・デブリン

きょうの例会
第906回 平成13年6月26日(火)

最終懇親例会(第2回ワイワイ例会)
於:松楓閣 18時~

先週の記録
第905回 平成13年6月19日(火) 曇り

◆“それでこそロータリー”

◆出席報告

会員	70(63)名	出席	49名
出席率	79.03%		
前々回	6月5日	(修正出席率)	100%

◆ビジター紹介

東名古屋分区がバナー補佐 星川 直志君
他1名

◆ゲスト紹介

東海学園大学経営学科研究科 教授 奈倉 道隆氏
財団奨学生 馬場今日子さん
池田君ゲスト 北野 睦さん

伊豫田幹事報告

1. 次回例会は午後6時より松楓閣にて第2回ワイワイ例会を開催致しますので、昼間の例会はございません。

東名古屋分区 星川直志ガバナー補佐挨拶



皆様こんにちは。今年度は大変お世話になりました。誠にありがとうございました。又、皆さまから色々お教え頂き、寄せられたご友情に重ねてお礼申し上げます。

私はこのクラブにお邪魔しますと身近な親戚に会ったような気がします。というのも私のおります名北RCは千種RCさんより1年早くチャーターナイトした経験から色々参考にして頂いたり、例会も数回こちらで行ったこともあり親しみを感じているからです。先程次年度水野ガバナー補佐にご挨拶致しましたが、10クラブ訪問させて頂く中には格式高く、足の震えるクラブもありますが一歩入ってみますとどのクラブも非常に紳士的で温かく迎えて頂きました。又、今年度は私共クラブがIMのホストを務めさせて頂き、その折には皆様にご大変お世話になりました。来月からは位地ロータリアンに戻りますが、これからもご友情賜りますようお願い致します。貴クラブの益々のご繁栄と皆様のご健勝、企業のご発展を祈念いたしましてお礼のご挨拶とさせていただきます。

尾関会長挨拶

皆さん、こんにちは。技術の進歩は日進月歩どころか秒進分歩と云われる程速いIT業界は、そのスピードの速さにトップ企業が一夜にして負け組にならないとは限りません。IT業界ほど速くないにしても、いま様々な分野でこの主役交代が起きています。

たとえば流通業界では、長い間売上げのトップを占めていたスーパーダイエーが、この2月決算では、前期比で10.5%減少して1兆9800億円でした。これに対してコンビニエンスストアのトップ、セブンイレブンジャパンは前期より4%伸びて2兆468億円を売上げ、小売業界の主役にコンビニが躍り出ました。

コンビニ、スーパー、百貨店、この並びは最近の若者を対象にした全国消費実態調査とも符号しています。30才未満の若年層の購入先の割合の最も高いのは、コンビニで16.9%、5年前と比べて7.6ポイント上昇しました。続いてスーパーの16.1%、百貨店10.5%とつづき、この年初めてコンビニがスーパーを上廻ったのであります。若者のスーパーへの不満が一番多かったのは「どこに何があるのかわからないので不便だ」と云う事でありました。これに対してコンビニは「必要なものが手に取り易い位置におかれている」と云う事です。

スーパー側からすれば、売場表示やPOPをつけて選びやすくしていると思っているのが、若者の実感では乖離していると云うことです。実は「スーパーの

売場は消費者にではなく、スーパー側に都合よく構成されている」と云った指摘もあり、主役交代の要因は案外こんな所にあるかも知れません。

週刊誌やマンガ雑誌の売上げが書店を抜き、用がないのにコンビニに入ると云う若者の心理にも目を向けなくてはならないと思います。

昔からの盛り場商店街の凋落も著しいものがありますが、21世紀も激変の時代がつづくと思えます。

◆講演 “新時代の経営と世代間共生”

東海学園大学経営学科研究科 教授 奈倉 道隆氏
(紹介 尾関君)



世代間共生が確立していない職場で、中高年と若年の労働者とが共に働く際には、作業テンポの不一致や効率の低下、若々しい雰囲気が減退するといった問題も生じよう。これは、高齢者によって起こる問題というよりも職場のあり方の問題として考える必要がある。今日までの職場では、パフォーマンスを高めるために統一的な行動がとれる集団を理想とし歩調を合わせることに努めた。しかしこれからは、個人の個性を認め合い、相補的に協調し合うことによって無理なく仕事が達成されることを理想とすべきである。話し合いによって職場の雰囲気が協調的になれば、それは可能である。企業におけるパフォーマンスは、課題達成あるいは目標達成のための実践活動であり、話し合いによって方向性を共有することが大切である。これによって、若者だけが意気さかんになったり、高齢者が過去の体験で若者をリードしようとしたりする弊害が除かれよう。また、世代によって考え方の違いがあることも明らかとなって意思の疎通が円滑となる。このような努力はパフォーマンスを高めるためだけでなく、メンテナンスにも役立つ。上意下達によって専ら成績を高めようとする職場では、不満が蓄積したり、人間関係が悪化して組織の健全な維持が困難となる。が、職場で話し合いがもたれて不満が表明できるとか、管理者がカウンセリングマインドをもって従業員の意見に耳を傾けるようになると、問題解決の糸口も明らかとなって組織の健全化が可能となる。世代間共生においても、高齢者のプライドの問題とか、若年者が干渉を嫌う問題などが生じやすいので、カウンセリングによって心理的問題の解決を図る必要がある。

職場に対する不満や人間関係の問題をもつ人は、自己の発言を共感的に理解したり感情を受容してくれる人と対話することによって自己を肯定する気持と他人を認める気持が湧いてくる。そのことによって冷静に問題解決をはかる道が開けたり、新しい人

間関係を再確立する意欲が湧いてくる。仕事上の困難に直面したときも同様で、企業の達成目標や戦略が明らかにされ、従業員全体がこれを共有して話し合いがもたれるとき、前向きに取り組む意欲が生じてくる。ただし平生から従業員が援助的、共感的な人間関係を体験し、社会的連帯感が実感されていることが前提となる。生活文化を異にする世代間には、意図的な交流を促す働きかけがなければ、積極的なふれあいがもたれにくい。高齢者・若年者にはそれぞれ異なる特性があるが、これによって初めから役割分担を決めることは必ずしも適切とはいえない。むしろ職場全体が達成課題や達成目標を共有して話し合う中で、世代間交流をはかり、自己の特性を自覚しつつ互いに補完し合う関係を確立していくことが望まれる。

◆RI会長賞披露



◎ 6月16日、地区役員、会長、幹事懇親会にて福田ガバナーより会長賞を頂きました。

麻雀会成績

於：松楓閣 6/14 (木)

RANK	NAME	MARK
優勝	松居 敬二	+66,100
2位	成田 良治	+37,500
3位	加藤 重雄	+13,400
B B	森 幸一	△22,600

(参加者 8名)

今年度の取切り戦優勝者は、成田良治君に決定致しました。

例会場・事務局住所変更のお知らせ

名古屋みなとRC (6月27日(水) 移転)
例 会 場：名古屋マリオットアソシアホテル
ビクター階：4000円
事 務 局：〒450-6002 中村区名駅1-1-4
名古屋マリオットアソシアホテル2222号室
TEL&FAX 従来と同じ

◆ニコボックスは紙面の都合上、次回掲載致します。

◆次回例会 (7月3日)

新・旧会長挨拶
前年度皆出席者表彰